



ジュニア和楽器楽団「あまね」

令和4年6月1日に文化庁地域文化倶楽部創設支援事業によりジュニア和楽器楽団を創立、翌年には子供たちの為の和楽器合奏団「あまね」を結成。三重県内の小学4年生～高校3年生を対象に団員を募集し、現在約30名が在籍して地域の指導者から箏の演奏を学ぶ。

毎年夏に浴衣会、冬に定期演奏会を開催する他、イベント出演や和楽器体験のワークショップ実施など、日本の伝統文化“和楽器”の普及と継承のため活動している。

三重ジュニア管弦楽団

三重ジュニア管弦楽団は、音楽を楽しむ心豊かな人間の育成を図るとともに、オーケストラ活動を通して団員の協調性を育み、地域との交流を深め、三重県の音楽文化向上に寄与することを目的として活動するジュニアオーケストラです。三重県在住または通学する小学校4年生から高校3年生までの約50名の団員が所属しています。

月3回の定例練習のほかに、三重県内各地の出張演奏会や、岡田文化財団主催公演にゲスト出演し、さだまさし、由紀さおり、安田祥子、ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団などと共演する等、さまざまな演奏会に出演しています。



三重県少年少女合唱連盟

三重県少年少女合唱連盟は、三重県内の児童合唱の普及および発展を図ることを目的として結成され、桑名・亀山・Suzuka西部・津・久居・松阪・伊勢の7合唱団約150名で組織されている。今年度の活動としては、10月に岡田文化財団主催の「由紀さおりコンサート」出演、11月に名古屋少年少女合唱団を招いて「三重ジュニアコーラスフェス」を主催、翌1月には「三重の子どもニューイヤーコンサート」への出演が予定されている。また、各団は毎年の定期演奏会開催や地域のコンサートへの出演、施設訪問演奏、チャリティーコンサートの開催などの活動を通して、音楽を愛し、仲間と心を合わせて素晴らしい音楽を創り上げようと努力する子どもたちの育成を目指している。

所属団体：桑名少年少女合唱団、Suzuka西部少年少女合唱団、亀山少年少女合唱団、津児童合唱団、久居少年少女合唱団、松阪少年少女合唱団、伊勢少年少女合唱団

三重県立白子高等学校 普通科 文化教養(吹奏楽)コース

県内唯一の吹奏楽コースとして、専門的な授業を通して高度な知識と技術を身につけることができ、その特徴的な授業や活動は度々マスコミでも採り上げられています。また、吹奏楽コースでは、授業実習の一環として鈴鹿市社会福祉協議会のボランティア事業に参加しており、白子地区限定ではありますが、日頃の授業の成果を地元のスロムや福祉施設で月1回程度発表し、地元の高齢者の方々から好評を得ています。この活動では、ソロやアンサンブルといった小規模な施設でも対応出来る形で演奏を届けています。授業において、ソロ、アンサンブルにも力を入れており、吹奏楽コースの課外学習的役割として活動している吹奏楽部では、東海マーチングコンテスト金賞、三重県吹奏楽コンクール優勝、日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀グランプリなど各種大会において顕著な成績を残しています。



司会/朗読 小野あつこ

4歳からピアノを始め、ピアノの先生になることを夢見て、東京都立芸術高等学校音楽科に入学。ピアノ専攻卒業。大学入学時に声楽に転向。東京音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻(声楽演奏家コース)、同大学院音楽研究科声楽専攻独唱研究領域修了。

大学在学中の6年間、児童館や学童クラブで指導補助のアルバイトを行っていたことから、将来子どもと関わる仕事に就きたいと思うようになる。中学校・高等学校教諭専修免許状取得(音楽)。

大学院卒業と同時に、NHK「おかあさんといっしょ」21代うたのおねえさんとして2016年4月から6年間番組に出演。

卒業後はうたのおねえさん時代から大切にしている「近所のおねえさんのような親しみやすさ」を大事に子ども向けの活動を続けながら、「食」に関する勉強をするなど仕事の幅を広げている。

管弦楽(サポート) 新日本フィルハーモニー交響楽団

「一緒に音楽をやろう!」1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。1997年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会、特別演奏会、楽員プロデュース「室内楽シリーズ」のほか、地域の学校体育館や小中学校の音楽授業、各種施設の訪問など、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(1975年～79年)、第2代音楽監督・井上道義(1983年～88年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(2003年～13年)、第4代音楽監督・上岡敏之(2016年～21年)。その他、ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(2010年～16年)、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence(2013年～15年)を務めた。新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラの音楽監督に久石譲(2004年～)、また新日本フィルのMusic Partner(2020年～)も歴任している。

受賞歴に第3回三菱信託音楽賞奨励賞、第18回三菱UFJ信託音楽賞、第22回ミュージック・ベンクラブ音楽賞等多数。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

三重県文化会館とは、1997年に関西拠点契約を締結。以降、年2回の三重公演の他、三重ジュニア管弦楽団の指導や演奏クリニックを行っています。



(CIK,Miura)